

**一般社団法人 日本医学物理学会**  
**平成 25 (2013) 年度 第 3 回理事会議事録 (抄)**

日時:平成 25(2013)年 9 月 16 日(月)17:30-20:00

場所:大阪大学コンベンションセンター 2 階 会議室 3

出席者:遠藤・松本・新保・櫻井・荒木・小口・奥村・西尾・福田(理事)、金井・福村(監事)

欠席者:齋藤・榮・門前(理事)

参会者:和田・蓑原(委員長)

議題:

1. 前回議事録の確認
2. 新入会員・退会者の承認
3. 106 回、107 回(、108 回、109 回)大会の準備状況について
4. 選挙管理委員会報告
5. 倫理に関する細則(案)・個人情報保護に関する細則(案)
6. 「ICMP2013 研究成果報告奨励金」の審査結果について
7. 委員会報告
8. 医学物理士認定機構の現状について
9. 名誉会員の推薦について
10. その他

資料:議案書冊子

席上配布:資料 7-6(国際交流委員会資料 1 点)

## 議事

出席者・参会者、定足数確認の後、会長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。

### 1. 前回議事録の確認

資料により前回理事会(6月22日)議事録案を通読・確認し、原案通り承認した。

### 2. 新入会員・退会者の承認

資料に基づき、庶務理事より6月1日－8月31日の入退会・資格変更が報告された。審議の結果、原案通り承認した。これにより8月末時点の会員総数は2,141名となった。

### 3. 大会準備状況について

#### <106回大会>

第106回大会長より口頭で、台風に際会しながらも無事開催に至ったこと、日中の市民公開講座が参加多数で開催されたことが報告された。会長より大会長以下実行委員会の労をねぎらう言葉が贈られた。

#### <107回大会>

第107回大会長が台風により出席不能のため、準備の大会サイトが事務局より披露された。サイトを一通り紹介し、正式オープンが諮られた。議論の結果、報告されたサイトで公開することを可とした。

#### <108回大会>

韓国プサンにおけるJKMPとして開催。準備状況は国際交流委員会報告にて。

#### <109回大会>

第109回大会長より、準備進捗状況が報告された

### 4. 選挙管理委員会報告

資料に基づき、選挙管理委員長(欠)に代わって庶務理事より、これまでの経過・選挙詳細スケジュール・確定立候補者一覧の報告がなされた。理事会はこれを了承し、かつは立候補者一覧を投票開始1週前にホームページで公開すべきこととした。

### 5. 倫理に関する細則(案)・個人情報保護に関する細則(案)

資料に基づき、副会長より両案の骨子の説明がなされた。これを受けて会長より、今回は意見交換と位置付けることが宣せられ、出席者間で議論がなされた。

以下、大会等における発表に関する利益相反一金額の開示範囲等についての情報交換を含めて議論した。

### 6. 「ICMP2013 研究成果報告奨励金」の審査結果について

委員会報告中に一括。

### 7. 委員会報告

#### <教育委員会>

資料に基づき教育委員長より報告がなされた。

サマーセミナーについては開催概要とアンケート結果が報告された。参加者は概ね満足しているが、課題もあることが明らかになった。次回以降の開催地については教育委員会でこれから議論することが報告された。

引き続き別資料によりがんプロ医学物理コースに関する報告がなされた。

また会長より、学会としてレジデントプログラムにどう関与してゆくかについて言及があった。すなわち、これは JBMP がガイドラインを策定し、第一義的に責任も持つべきものである。JSMP としては要請があれば協力を惜しまない旨表明がなされた。

#### <QA/QC 委員会>

資料に基づき、QA/QC 委員長より報告がなされた。粒子線治療 QA/QC ガイドラインの査読状況が報告された。本ガイドラインは、当学会から公表する場合「医学物理」誌の Supplement として扱うこととした。

さらに粒子線治療 QA/QC グループを当委員会の分科会として設置することが提案され、これを承認した。次回名簿を提出することとした。

#### <編集委員会>

資料に基づき、編集委員長より「医学物理」誌の編集・刊行状況が報告された。33-1 は大会直前に出来上がり会員に送達されたこと、33-2 は 10 月下旬刊行を目指していることが報告された。

会長より、進捗によっては原稿の遅れている記事除外等の措置を取りながら早期刊行を重視すべきことが指摘された。

また、「医学物理」誌の J-STAGE 搭載開始が 10 月頃の見込みであることが報告された。

#### <RPT 誌編集委員会>

担当理事が台風により出席不能のため、事務局が資料を読み上げた。RPT 誌の公開ポリシー・機関リポジトリ照会等については、出版元ならびに協同刊行学会の方針と齟齬のないようにすべきことを確認した。

さらに会長から、冊子体の重複配布廃止は次号 (Vol.7 No.1, 2014 年 1 月) より実行するむね報告され了承された。また、JSRT が同誌の冊子体を次号から希望者のみとすることに決めたことが紹介された (学会年会費は変動なし)。JSRT に資料提示依頼済なので、当方も早急に試算し、それをもとに 11 月理事会で審議することが示された。

#### <国際交流委員会>

資料に基づき国際交流委員長より報告がなされた。

研究成果報告奨励金が、ICMP2013 に際して公募・選考を経て 3 名に支給となったこと (いずれも発表を確認)、また AOCMP2013 についても同奨励金を公募すること (2 名) が報告された。

AFOMP で RPT 誌を同連盟の official journal にする件が検討されていることが報告された。本件は日本側から提案したもので、連盟側から条件として AFOMP 会員は同誌に投稿できること、オンライン購読できること、などが示されている。現在、投稿規程等を誰が整備するかが課題であることが会長からコメントされた。

また会長より、本件は AFOMP が正しい理解を得られるようなアプローチを図るべきことが指摘された。

KJMP2014 について、国際交流委員長と理事が渡韓の上打合せしたことが報告された。2014 年 9 月 25-27 日、プサンの Bexco で開催、参加費は韓国ウォンで統一することが報告された。日本側委員を 11 月末までに確定する必要あり、個別に相談することが示された。

さらに、出席監事より ICMP2013 で "Physics in Medicine and Biology" のブースがあり、同誌が JARP の official journal であると紹介されていたので、JSMP として何らかの対応が必要であることが指摘された。会長より、本件は国際交流委員長から先方にコンタクトを試みるべきことが示された。

また各国際団体の役員等に就任の場合は国際交流委員長に連絡することが求められた。

<用語委員会>

用語委員長が台風により参会不能のため、事務局より資料が紹介された。9月に泊りがけで委員会を開催した事が報告された。

8. 医学物理士認定機構の現状について

担当理事が台風により出席不能のため庶務理事が資料を読み上げた。

9. 名誉会員の推戴について

会長より名誉会員1名の推戴が提案された。審議の結果、本年度より名誉会員として推戴することとして承認した。

10. その他

<50 Outstanding Medical Physicists>

資料に基づき会長より、JSMPの名誉会員2名がIOMP50周年に際し選定された「50 Outstanding Medical Physicists」に入ったことが報告された。本件は学会ホームページならびに「医学物理」誌で記事として掲載すべきこととした。

<平成26年度科研費>

会長より、各位の尽力により、科研費の細目に<医学物理学・放射線技術学>が、限定的・時限的でない恒久的細目として復活したことが報告された。今後この細目を維持し続ける努力が必要であることが強く指摘された。

重ねて会長より、これに対応するためにad hoc委員会を設置することが提案された。この委員会では、応募できない機関の人のケア・応募できるけれども応募したことのない人のケアも視野に入れる。委員長人事が提案された。

審議の結果、火急に活動を開始する必要があるため当面の人选を会長及び委員長に一任し、設置を承認した。委員については決まり次第、理事会の承認を受ける。

<粒子線治療施設における放射化物の取扱いに関するガイドライン>

資料に基づき、昨年公開された同ガイドラインの改訂版について、その審議経過とともに庶務理事より報告された。審議の結果これを承認し、大会終了後にオープンすべきこととした。

<2013年度共催・後援等>

資料に基づき、未承認の他団体行事共催等案件の報告がなされ、すべてを承認した。

<ホームページ改定に伴うバナーの取扱い>

資料ならびに学会ホームページの投影により、庶務理事からバナー広告のルール案の提案がなされた。トップページのバナー表示また別ページにバナーリストを設け提供することを承認した。

<入会申込書>

資料に基づき、庶務理事より入会申込書の改訂が提案された。現行様式では、記入必須が明らかでなかったもので、原則として全項目を必須とした。審議の結果これを承認した。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 20:00 に閉会を宣言して散会した。